

2月は「自分の力に挑戦」を目標に頑張りました

2月の目標は「自分の力に挑戦」として、2月17日・18日に行われる「学力テスト」と2月24日に行われる「縄跳び大会」に向けて頑張ることにしました。

まず、「学力テスト」です。学年末となり、「次の学年への0学期」として、学年の総まとめとして学力テスト

に向けた取組を行いました。3学期も学校応援団の先生方にもご協力いただき子どもたちを手厚く支援していく予定でしたが、コロナウイルス感染症オミクロン株の感染拡大により、本当に残念でしたが支援をお断りすることになりました。小規模校ですので、複数体制で指導に当たるといっても管理職しかいません。そんな中でも、子どもたちと各担任は一生懸命頑張っていました。印刷した問題集を1回目、2回目と進める児童もいました。支援に入ると「校長先生分かりません。」と自分からお願いする子どももいて「分かるようになりたい」という子どもたちの思いがたくさん伝わってきました。テスト当日は、長文の問題が次々と出てきますが、最後まで集中して問題に取り組む姿が見られ、そんな子どもたちを見て大変うれしく思いました。



次は、「縄跳び大会」です。前回の号でも少しお話していましたが、12月の持久走大会が終わると、すぐに縄跳びの練習を自分たちで朝から始めていました。鹿井先生が修理してくれたジャンプボードの前には子どもたちの列がずらり。何回も跳んで、自分のお気に入りのボードがあるようです。子ども達に尋ねると、どうも弾み方がそれぞれのボードで違うようなのです。霜でボードの上が凍っていると、足で引っかけて



跳べるようにして練習していました。すごい気持ちの強さです。6年生がとても上手なので、そのお手本めざして下学年はどんどん練習していきました。1年生でも2重跳びが跳べるようになったんですよ。びっくりします。「あんなふうに跳びたい」と思う憧れの先輩がいると学校は本当によく回っていきます。立派なリーダー6年生に感謝です。大会では、それぞれが力を十分に発揮して、頑張る姿が見られました。応援していて気持ちのよい大会でした。そして、なんとまたうれしいことは、大会の翌日の昼休みにも、ジャンプボードで縄跳びを練習する子どもたちの姿があったことです。上手に跳べるようになりたいと思う気持ちはまだまだ継続中です。本当にうれしい取組になりました。

まん延防止等措置延長のため、授業参観も縄跳び大会応援もお断りすることとなり、大変申し訳なく思います。子どもたちはジャンプボードなしでも随分と上手になっていますので、お家でも跳べると思っています。どうぞ、その様子を見てしっかり褒めていただけたらと思います。よろしくお祈りします。

季節を楽しむ・・・

今年の冬は随分と冷え込みましたが、雪が積もることはほとんどありませんでした。けれど、1回だけ朝から急に雪が降って運動場が真っ白になったことがありました。もう、子どもたちは大喜び。運動場に走り出て、わんちゃんみたいにくるくる回って、雪と戯れていました。また、霜が降りた日には「つらら」を持ってきてくれる子どももいました。手の冷たさなんかなんのその、しっかり冬を楽しんでいました。そんなある日、一人の女の子が「この花うちにも咲いています」と言うのです。指さした先は・・・梅の花。「わあ、花が咲いてる。春・・・。」と思ったのでしょうか。その子の感性に感動しました。3月5日は、啓蟄です。もうすぐ、春です。



2022冬季北京オリンピック

夏に続き、冬のオリンピックもすごく感動しました。校長室廊下にも新聞の掲載記事を張り出しました。どの選手にもドラマがあり、子どもたちにとって学ぶことの多い大会でした。3月の全校集会でも話しますが、ぜひご家庭でも話題にいただけたらと思います。一流の選手の心に触れることは、自分を磨くきっかけになるかもしれません。本当に感動溢れる素晴らしい大会でした。

